

省エネで快適で健康的な

紫波町ゼロ・エネルギー住宅

完成見学会（要予約）

日時：5月17日（土）10時～16時

場所：紫波町高水寺稻村（ゼビオの西） （有）日高見工務店

Tel 0197-62-3377 Mail hitakamik@vega.ocn.ne.jp

エネルギー価格は今後さらに上昇を続けます

昨年、電気代が約10%値上がりしました。特に夜間電力は約20%も上がっています。

オール電化で安い電気代を享受してきた人も、高い電気代にびっくりする人が続出です。灯油代もガソリン代も大幅に上がりました。新興国のエネルギー需要増大と資源不足により、エネルギー価格は今後も上昇を続けると予想されています。

地球温暖化防止はもちろん、ランニングコストを抑えるためにも住宅の省エネルギーは重要です。

日高見工務店は、高性能ドット（Q値1.0以下）を標準仕様にしていきます

岩手のような寒冷地では、建物の断熱気密性を高めるなどの高性能化がより重要です。高性能にするほど暖房エネルギーを減らすことができ、かつ快適で健康的な暮らしを実現できます。弊社はドットプロジェクトに参加し、熱損失係数Q値1.0W/m²K以下の超高性能住宅の建設実績が県内No.1です。Q値1.0の家は、暖房エネルギーが次世代省エネ基準の家の約1/3ですみ、かつ快適です。

ゼロ・エネルギー住宅とは

ゼロ・エネルギー住宅とは、消費エネルギーが太陽光発電による発電エネルギーより小さくてすむ住宅です。住宅の性能をできるだけ高め、省エネ設備を導入し、太陽や風など自然エネルギーの利用など、省エネルギーを徹底的に追求します。一方で、太陽光発電を設置することにより、

（家の消費エネルギー）<（太陽光の発電エネルギー）を実現します。

エネルギー的にはゼロでも、売電価格が買電より高いので、光熱費は大幅な収入になります。

ゼロ・エネルギー住宅の実績

弊社は2012年2月に岩手県初のゼロ・エネルギー住宅を建築し、メディアでも報道されました。その後の実績データで、ほぼ計算どおりゼロエネルギーを達成することがわかりました。その後もゼロエネルギーの家を何棟か建築させていただいております。国の「住宅のゼロエネルギー化推進事業」にも2年連続で採択されておりますが、今回の見学会場はまさにその家です。

ランニングコストが減って、建築費増を約10年で回収

次世代省エネルギー基準の家と比べると、断熱工事や換気設備などで建築費は増加します。

しかしランニングコストについては、暖房エネルギーが1/3になるなど大幅に小さくなります。

建築費の増額分はランニングコストが減ることで、約10年で回収できる計算です。エネルギー価格の高騰があれば、より短期間で回収できることとなります。

これから建てる家に永く住むことを考えれば、最初はコストが掛かっても安い投資になるでしょう。

収納たっぷり、木の香りがする四季を通じて快適な家

様々な収納を各所に設けました。小屋裏には広いロフトもあります。

省エネで、四季を通じて快適な家をどうぞご覧ください。

